「権力争い 言い訳できぬ」

避難所で、内閣不信任案が否決されたニュースを見る被災者＝2日午後5時51分、宮城県石巻市、小宮路勝撮影

被災3県選出の民主党衆院議員は

氏名（選挙区）	投票	一言
階　猛（岩手1）	○	首相が復興の支障。退陣を表明したので、政局は無駄でなかった
畑　浩治（岩手2）	○	あいまいな部分は残るが、首相が辞任表明した。苦渋の決断だった
黄川田　徹（岩手3）	○	新たな展開をしていかないと、世の中が動かないということ
小沢　一郎（岩手4）	—	
郡　和子（宮城1）	○	みんなで復興に取り組もうとなったので、結果的には良かった
斎藤　恭紀（宮城2）	○	首相の退陣表明で与野党が一致団結できれば、復興が前進する
橋本　清仁（宮城3）	○	与野党とも、被災者に対して思いやりのない政治行動だった
石山　敬貴（宮城4）	○	どたばたはあったが、首相が方針を明示したのはプラスではないか
安住　淳（宮城5）	○	首相が代われば、がれき処理が急に良くなるということではない
石原洋三郎（福島1）	—	政権は原発事故で迅速な対応がとれていない。ギリギリまで悩んだ
太田　和美（福島2）	—	地元政治家として不信任案に反対と判断するのは難しかった
玄葉光一郎（福島3）	○	否決をきっかけに与野党が協力できる政権を作らなければいけない
渡部　恒三（福島4）	○	みんな苦しんでいるときに権力争いをして、言い訳できなかった
吉田　泉（福島5）	○	原発事故の対応は、別の政権になってもいま以上のことはできない

敬称略。投票の「○」は内閣不信任案に反対、「一」は欠席。一言は2日夜までに取材できた議員

被災3県選出の民主議員

小沢一郎元代表のグループに所属している畑浩治氏（岩手2区）は悩んだ末、不信任案に反対した。「地元は菅首相の震災対応への不満と、政治空白を作るべきではないという意見が同じくらいあった」という。「辞任表明の言葉を重く受け止め、不信任案に乗ることを思いとどまった」

石山敬貴氏（宮城4区）も不信任案に賛成するつもりだったが、菅首相が辞任表明をしたことで反対に転じた。「菅さんは、被災者の声をどう復旧復興に反映させるのかが見えず、マイナスだった。退陣表明で閉塞感が解消されると思う」

岩手県陸前高田市の自宅が津波の被害にあい、妻と長男、両親が犠牲になった黄川田徹氏（岩手3区）は2日前まで「抗議の意味を込めて、賛成も反対もせずにいくかもしれない」と語っていたが、結局は反対した。首相の退陣表明については「何らかの新たな展開をしていかないと、世の中が動かないということなんでしょう」と話した。

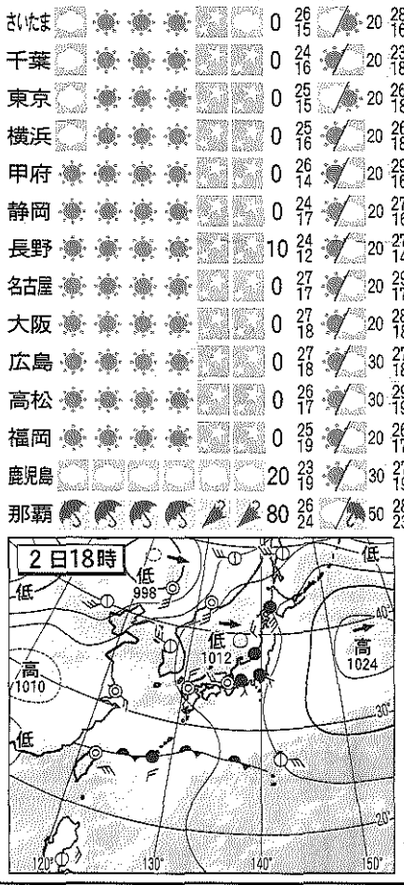
2009年の衆院選で、岩手、宮城、福島の3県から小選挙区で当選した民主党議員は14人。このうち、小沢氏を含む3人が採決を欠席した。石原洋三郎氏（福島1区）は「原発事故で迅速な対応がとれていない。放射線量が高い地域の避難や、児童・生徒の年間被曝量を抑える方針を打ち出すのも遅れた」と菅政権を批判。一方で「野党の揺さぶりにも安易に乗れない。後援会の意見も聞き、ギリギリまで判断を悩んだ」と説明した。

民主党国会対策委員長の安住淳氏（宮城5区）は「首相が代われば、がれき処理が急に良くなるということではない。みんなで頑張ろうという空気を作れなかった首相には十分反省してもらうので、自民党、公明党にぜひ協力してもらいたい」。政調会長の玄葉光一郎氏（福島3区）も「与野党が協力できる強い基盤を持った政権を作らなければいけない」と語った。

ただ、被災地の政治不信に拍車がかかったことは間違いない。民主党最高顧問の渡部恒三氏（福島4区）は「みんな苦しんでいるときに東京で国会議員が政治権力争いをして、どんな言い訳もできなかった」と陳謝。「これも今日できれいに終わった。政府が被災した皆さんのために全力投球して頑張ることができる」と期待を込めるように語った。

ののちゃん

天気



本州付近は高気圧に緩やかに覆われる。関東や北陸、東北はおおむね晴れる。関東甲信は夏日の所が多く、汗ばむ陽気。